



## 復興、そして未来を切り開く まちづくり「宮古創生」へ

市民の皆さまには、日ごろから市政発展にご協力いただき、ありがとうございます。

このたび、宮古市議会において、平成30年度に市が行う事業の予算案が認められました。この予算の使いみちを分野ごとに分かりやすく説明するため、予算説明書「ことしはどんな仕事をするの？」を作成し、すべての世帯にお配りいたします。

東日本大震災から7年が経過いたしました。「必ずや復興を成し遂げる」という強い思いを胸に、市民の皆さまのご支援とご協力をいただきながら、復興への歩みを進めております。

平成31年度を最終年度とする震災復興計画は、「復旧期」「再生期」を経て、平成30年度は「発展期」の中間年を迎えます。

昨年10月、鉾ヶ崎・光岸地地区のまちびらきを行いました。これにより、市が計画をしていた「すまいと暮らしの再建」に関わる宅地の整備は一定のめどが立ったところです。

いよいよ本年6月22日には、岩手県初となるフェリーが本市と北海道室蘭市を結び、「宮蘭航路」として就航いたします。

宮古駅南側で建設中の中心市街地拠点施設「イーストピアみやこ」、宮古駅とをつなぐ自由通路「クロスデッキ」は7月に完成し、10月の開設を予定しております。

また、復旧中のJR山田線宮古・釜石間は、平成30年度中に全線の整備が完了し、久慈から大船渡盛間の163kmが「リアス線」として、三陸鉄道による一貫運行が行われます。

三陸沿岸道路や宮古盛岡横断道路、遠野市と川井地域をつなぐ国道340号、主要地方道重茂半島線、市道北部環状線などの道路整備も着実に進んでおります。

大震災を機に、まちの基盤となる道路・鉄路・海路の新たな交通ネットワークが形成されるなど、我々を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

こうした変化に的確に対応し、東日本大震災、あわせて平成28年台風第10号災害からの一日も早い復旧・復興とともに、復興の先を見据え、未来を切り開くまちづくり「宮古創生」に取り組んでまいります。

平成30年4月

宮古市長 山本正徳

【目次】 平成30年度 予算説明書 「ことしはどんな仕事をするの？」

主要事業	事業一覧	内 容
1		<b>2018 重点事業</b> 宮古室蘭フェリー就航 中心市街地拠点施設「イーストピアみやこ」開設
2		<b>【復興事業】 1 すまいと暮らしの再建</b> 被災者の生活再建支援 保健・医療の確保・充実 福祉の充実 学校教育環境の確保・充実 生涯学習等施設の復旧と文化財の保存・継承 地域コミュニティの強化・再生
5		<b>【復興事業】 2 産業・経済復興</b> 農業の復興・再生 林業の復興・再生 水産業の復興・再生 企業・事業者の復興・再生 観光の復興・再生 港湾の復興・再生
8		<b>【復興事業】 3 安全な地域づくり</b> 災害に強いまちづくりの推進 災害に強い交通ネットワークの形成 地域防災力の向上 防災・危機管理体制の強化と再構築
13		<b>【復興事業】 4 その他</b>
14		<b>平成 28 年台風第 10 号関連の施策</b>
16	38	<b>1 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成</b> 市内道路交通網の形成 公共交通の確保と充実 情報通信基盤の充実
20	38	<b>2 活気に満ちた産業振興都市づくり</b> 農業の振興 林業の振興 水産業の振興 工業の振興 商業・サービス業の振興 観光の振興 連携・高付加価値型産業の形成 港湾の利用促進 雇用の促進と労働者の福祉の充実
26	42	<b>3 安全で快適な生活環境づくり</b> 防災・危機管理体制の充実 消防・救急体制の充実 交通安全の推進 防犯体制の充実 市民相談の充実 住環境の整備 安全・安心な水の供給 衛生的な水環境の確保 環境衛生の充実 自然環境の保全 循環型社会の形成
29	45	<b>4 健康でふれあいのある地域づくり</b> 健康づくりの推進 医療の充実 医療保険制度等の充実 地域福祉活動の充実 高齢者福祉の充実 子育て支援の充実 障がい者福祉の充実
32	50	<b>5 交流と連携による地域づくり</b> 市民活動の推進 男女共同参画社会の形成 地域間交流の推進
33	51	<b>6 個性を生かし未来を拓くひとづくり</b> 生涯学習の推進 学校教育の充実 スポーツ・レクリエーションの振興 文化の振興
36	55	<b>7 新しいまちにふさわしい行財政運営の推進</b> 行財政運営の効率化 市民との情報の共有 行政の質的向上 民間活力の活用 その他の事務事業
57		<b>資料編</b> 平成 30 年度の一般会計、特別会計などの予算規模 ほか

※各事業の担当課などは変更となる場合があります